

宿泊税の使途について

第1回白浜町宿泊税検討委員会
令和7年10月30日

1 先行導入自治体の状況

(1) 先行導入自治体の導入目的

自治体	導入目的
東京都	国際都市東京の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
大阪府	大阪が世界有数の国際都市として発展していくことを目指し、都市の魅力を高めるとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
福岡県	観光資源の魅力向上、旅行者の受入環境の充実その他の観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
京都市	国際文化観光都市としての魅力を高め、及び観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
金沢市	金沢の歴史、伝統、文化など固有の魅力を高めるとともに、市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策に要する費用に充てるため
福岡市	福岡市観光振興条例に基づく施策に要する費用に充てるため（観光産業の振興、受入環境の整備、観光資源の魅力の増進等、MICEの振興、持続可能な観光の振興）
北九州市	観光資源の魅力向上及び情報発信、旅行者の受入環境の充実その他の観光の振興を図る施策に要する費用に充てる
長崎市	都市の魅力を高め、国内外の人々の来訪及び交流を促進するとともに、観光の振興を図る施策に要する費用に充てる
倶知安町	世界に誇れるリゾート地として発展していくことを目指し、地域の魅力を高めるとともに、観光振興を図る施策に要する費用に充てるため

1 先行導入自治体の状況

(2) 先行導入自治体の事例

	東京都	大阪府	京都市	金沢市	倶知安町	福岡県	福岡市
用途	Wi-Fiやデジタルサイネージなどの利用環境の整備／東京観光情報センター(都内5箇所)設置・運営／都内の観光スポット等を記載したウェルカムカードの作成	観光客受入のための基盤整備・持続可能な観光の促進／府域における交通アクセス等の容易化・円滑化／文化・生活習慣に配慮した対応／安心・安全の確保／魅力あふれる観光資源づくり／効果的な誘客促進	市民・観光客双方にとって安心・安全な受入環境の整備／京都観光における更なる質・満足度の向上／京都ならではの文化振興・美しい景観の保全	まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興／観光客の受入れ環境の充実／市民生活と調和した持続可能な観光の振興	ニセコ・羊蹄山の環境保全／安心・安全なリゾートの形成／”観光インフラ”の整備	宿泊施設の多言語案内・情報発信、バリアフリー化等に対する支援／インバウンド向け体験プログラムを含む旅行商品造成支援／市町村の観光振興施策への財政的支援(宿泊税導入市町村除外)	九州のゲートウェイ都市機能強化／MICE都市としてのプレゼンス向上／地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進
	北九州市	長崎市	ニセコ町	常滑市	熱海市	赤井川村(北海道)	
用途	観光都市とするためのブランディング／地域資源の観光資源化／セールスプロモーション／観光客がストレスフリーで観光を楽しめる環境整備／MICE戦略を強化し都市型集客の促進／アジアを中心とした誘客促進	サービス向上・消拡大／受入環境整備／情報提供／緊急時の対応等	地域内交通の充実／宿泊事業者の地球環境負荷の低減を促進・支援／観光協会組織強化、観光人材育成、観光DX推進／景観・環境保全対策／有事への備え	来訪者(宿泊者)の満足度向上／来訪者(宿泊者)の増加促進／観光の好循環創出と加速	宿泊客の増加・観光消費拡大に資する事業【既存】イベント開催支援・実施／観光客受入環境の整備／誘客宣伝業務／市場調査・分析等【今後】マーケティング／コンテンツ開発／観光インフラ／運営経 人材育成	観光インフラの整備／増加する観光客への対応／魅力ある赤井川村づくり	

■ 先行導入自治体の考え方

- 受入環境整備(交通、案内所運営、Wi-Fi環境)、イベント開催、誘客宣伝が多く、九州地方はMICE誘致も多い。
- 京都市は「市民と観光客双方にとって安心・安全な受入環境の整備」に7割、倶知安町は「地域DMOの事業・運営」に6割を充当。災害やパンデミック対応の基金設立や積み立てに充当する事例(長崎市、ニセコ町、常滑市)、道路や浄水場などのインフラ整備に充当する事例(赤井川村)、宿泊施設の受入環境充実・省エネ等の整備支援に充当する事例(金沢市、福岡市、ニセコ町)がみられる。

1 先行導入自治体の状況

(2) 先行導入自治体の事例(長崎市)

令和7年度の宿泊税活用事業

3億6,701万1千円

<p>① サービス向上・消費拡大 41,597千円 (事業費 93,113千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・多様なインバウンドニーズへの対応支援 ・サステナブルツーリズムの推進 ・英語ガイドの育成 ○長崎さるく推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・長崎さるくの情報発信、ガイド研修 ○食・観光高付加価値化事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・和華蘭グルメの磨き上げや食のコンテンツ造成 	<p>③ 受入環境整備 64,833千円 (事業費 295,332千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成 ・事業者ネットワークの活性化支援 ○総合観光案内所運営費 ○観光客受入環境整備費 <ul style="list-style-type: none"> ・オーバーツーリズム対策警備実施 ○観光産業人材育成事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・将来の観光産業を支える人材の育成のための、小中学校における「観光教育出前授業」の実施 ○観光資源魅力推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・案内板改修(多言語やユニバーサルデザインなど) ○路面電車におけるタッチ決済機器導入への支援 ○公衆トイレの改修 
<p>② 情報提供 172,107千円 (事業費 232,153千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくり推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル広告・OTA等によるプロモーション ・観光ワンストップサイトにおける情報提供 ・各市場(国内・インバウンド・MICE)の特性に応じたセールスによる誘致活動 など ○インバウンド誘致広域連携事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・万博を契機とした他都市との連携プロモーション、海外デジタルノマド誘客 ○観光客誘致推進費 <ul style="list-style-type: none"> ・長崎市を舞台とした映画、ドラマ等の作品や出演する著名人を活用したPR ○さしみシティ推進事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・さしみシティの域外へのPR 	<p>④ 資源磨き 23,200千円 (事業費 282,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○英国領事館における展示等の実施設計及び整備 <p>⑤ 観光交流基金積立金 50,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ●宿泊税賦課費 15,274千円 (事業費 15,278千円)

1 先行導入自治体の状況

(2) 先行導入自治体の事例(金沢市)

宿泊税の活用

78事業 819,000千円

宿泊料金5千円未満の宿泊に対する宿泊税を免税(令和6年10月施行)

令和7年度宿泊税 収入額 819,000千円

I. まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興を図る施策		31事業 活用額	403,244千円 355,854千円
改	木が彩る歩行空間創出事業費 新 金沢駅東広場内に木の温もりを肌で感じることができる大型のベンチを設置		19,000千円
新	文化施設展示空間リニューアル事業費 文化施設の鑑賞環境の向上を図るため、計画的に展示空間を改修		6,000千円
新	金沢の庭園文化発信事業費 多面的な価値を持つ歴史的庭園群を「金沢の庭園文化」と位置付け国内外に広く発信		5,500千円
改	全国学生大茶会開催費 本市の茶の湯文化や茶室の魅力を発信するため、全国から茶道部の学生を招聘し、茶会を開催		11,000千円
改	金澤町家宿泊施設再生事業費補助 金澤町家の宿泊施設への再生・活用にかかる改修等に対し支援		12,000千円
改	薦掛け保全・継承事業費 土塀を雪から守る金沢ならではの薦掛けの継承に向けた仕組みを検討		7,590千円
	街路樹等雪吊り魅力向上事業費 まちなかの街路樹や公園等の樹木への雪吊りを拡充し、金沢らしい冬の魅力を創出		54,864千円
	文化スポーツ施設再整備積立基金積立金		150,000千円

II. 観光客の受入れ環境の充実を図る施策		11事業 活用額	217,813千円 150,678千円
新	金沢駅前広場賑わい創出事業費 来街者への情報発信機能を強化するとともに、中心商店街等と連携したイベントを開催		12,070千円
改	まちの風情を感じる夜間景観創出事業費 新 金沢駅地下広場等の照明整備を実施		57,500千円
改	通訳ガイドおもてなし推進費 新 地域通訳案内士と旅行会社とのマッチング機会を創出し、受入環境を向上		2,200千円
	宿泊施設改修支援事業費補助 宿泊者の利便性向上に資する旅館等の改修を支援		60,000千円
	金沢中央観光案内所管理運営費 市中心部にて外国人窓口対応、当日宿泊予約の受付など充実した観光案内を実施		44,743千円



IV. 徴税経費 53,304千円



事業費合計 1,005,864千円
活用額合計 819,000千円

III. 市民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策		29事業 活用額	293,803千円 222,803千円
新	市民と旅行者の相互理解促進事業費 市民と旅行者の相互理解を促進する特設サイトを開設し、市民生活と調和した観光を促進		3,800千円
新	金沢旅のマナー啓発推進費 旅行者に向けたマナー啓発動画を金沢駅構内のデジタルサイネージで放映		5,000千円
新	観光地美化推進モデル事業費 店舗等の協力により観光地のごみの引き取り等を行うモデル事業を実施		600千円
改	デジタル活用観光快適度向上事業費 新 観光地にAIカメラを設置して混雑状況を配信するとともに、混雑予測マップを多言語化		3,700千円
改	観光地周辺環境向上対策費 観光地周辺における交通誘導員の配置を拡充し、バスや歩行者の通行等の環境を向上		7,930千円
	都心軸交通円滑化対策強化費 都心軸の交通円滑化と安全な歩行環境を確保するため、啓発員を配置		8,600千円
新	第3期「まちのり」運営費 自転車台数やポート数を拡充した第3期「まちのり」の運営を開始(令和7年4月)		27,800千円
新	金沢ふらっとバスキャッシュレス決済導入費 ふらっとバス此花・菊川ルートにキャッシュレス決済を導入		10,900千円
新	観光客等帰宅困難者対策費 帰宅困難者・観光客対応マニュアルを策定し、交通機関等と連携した合同訓練を実施		4,000千円
新	まちかど文化芸術プログラム推進費 市民や来街者がまちなかで気軽に体感できる文化芸術プログラムの実施方法等を検討		3,300千円

能登の魅力発信に活用することで能登地域を含めた広域観光を推進		7事業 活用額	37,700千円 36,200千円
改	有力広報媒体活用キャンペーン事業費 新 金沢と能登を組み合わせた魅力的な企画を掲載し、能登地域を含めた来訪を促進		2,000千円
	クルーズ船能登応援消費拡大事業費 金沢港寄港のクルーズ船内に地域産品のPRブースを出展し、寄港時の消費を拡大		1,500千円
	能登応援・震災復興キャンペーン事業費 全国の百貨店等の物産展において能登・金沢のタイアップキャンペーンを実施		3,500千円
改	第74回金沢百万石まつり開催費 新 能登応援企画として、キリコ巡行等を実施		2,700千円
改	KOGEIフェスタ!開催費 新 能登の工芸作家等の作品を活用したデジタルアートミュージアムを開催		3,000千円
	金沢JAZZ STREET2025開催費 能登の復興を支援する特別ステージを開催		5,000千円
	能登応援連携事業費補助 能登地域の復興に向けた市内経済団体等と能登の団体との連携事業に対して支援		20,000千円

2 白浜町における宿泊税の使途

(1) 宿泊税の使途の方針について

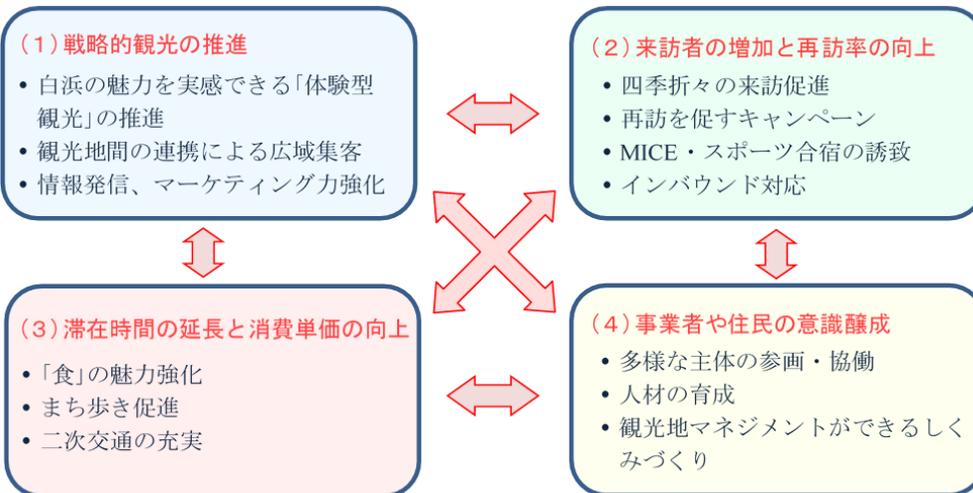
先行導入自治体では、「町の魅力向上・発展」や「観光振興を図る施策」に係る費用に充てることを目的に宿泊税を導入している。

白浜町における宿泊税の使途については、「白浜温泉街活性化構想推進計画」の基本方針や基本目標を踏まえ、旅行者の満足度や利便性、快適性を高めるなど、住民生活と調和した持続可能な観光の振興を図る施策を実施していく。

白浜温泉街活性化構想推進計画 基本方針



白浜温泉街活性化構想推進計画 基本目標



2 白浜町における宿泊税使途

(2) 観光振興施策例

宿泊税活用事業の事業区分例

事業区分	
観光資源の魅力向上	観光資源魅力向上等事業
	観光資源環境保全等事業
情報発信の充実	国内プロモーション強化事業
	国外プロモーション強化事業
旅行者の受入環境の充実	観光施設整備等事業
	まちなかにぎわい創出事業
誘客促進	観光イベント等充実事業
	誘客促進事業
	M I C E 等誘致強化事業
まちなみ景観整備	商店街周辺まちなみ整備事業
	その他まちなみ景観整備
その他観光振興を図る施策	

2 白浜町における宿泊税の使途

(3) 観光施策に係る財源

既存の観光施策に係る経費は、職員人件費（0.7億円）を除き、**約4.1億円**となっている。

国県支出金やふるさと納税等を除いた既存事業の一般財源は約**2.7億円**であるため、宿泊税を基にした既存事業の拡充及び新規事業を合わせると、町の観光施策として**2.7億円+ α の財源を確保する必要がある**。

観光施策 事業費	観光職員人件費 0.7億円	一般財源
	既存事業4.1億円 + 新規事業 α	国県支出金・ふるさと納税など
		一般財源
		宿泊税

※宿泊税の使途は、観光振興施策に限定し、使途は公開する予定

※財源内訳イメージ

新規事業含む宿泊税の**具体的使途**については、第二次白浜町長期総合計画や白浜温泉街活性化構想推進計画の基本方針を基に、新たなニーズも踏まえ検討を進めていく。